

安保法案採決 記名投票望む

無職

(兵庫県 75)

集団的自衛権の行使容認のため、憲法解釈を閣議決定で変えることから始まった安全保障関連法案が参議院で採決されようとしている。自民一強体制で強引に進めてきた法案審議だが、末端の議員まで十分に理解しているのか甚だ疑問だ。自民党は1年生議員も多いが、きちんと勉強しているのだろうか。

このところ議員の顔が見えない。多様な意見を有するはずの自民党だが、議員のマスコミ出演を規制しているようだ。法案への反論も聞こえてこず、若手議員の口を封じているようにも見える。

一人ひとりが安保法案についてどのように考えているのかを知りたい。国会議員の責任として、採決には自分の意見を反映してもらいたい。後になって議員の口から「党議拘束だった」という言い訳を聞きたくないのだ。各議員の賛否の結果が公表されるよう採決は記名投票にしてほしい。

私たちはその結果を次期選挙で参考にし、投票する。選挙権が18歳に引き下げられ、若者も声を上げるようになってきた。国民の多くが反対している法案である。国民の代表だという自覚をもって賛否を明確にし、また国民への説明義務を果たすべきだ。

徴兵意識して「理系」ですか

大学生

(滋賀県 19)

化学の嫌いな私は、高校2年で文系の選択をした。誰でも、やりたいことや得意科目などを考慮に入れて適当に文系理系を選ぶものだと思っていた。

ところが大学浪人中に予備校で耳に入った、理系志望らしい2人の男子の会話は衝撃的だった。やっぱり理系が良いな、学徒出陣も最初は文系学生からだったな、という内容だった。昨年暮れの話である。

第2次世界大戦時の学生の徴兵は、最初は文系学生から始まり、理系学生には入隊延期などの特例があっ

たことが、彼らが理系を選択した一因らしい。つまり彼らは戦争がごく近い将来に起こるものと想定していたのか。戦後70年、戦争の足音は遠のくところか、若者の耳にはますます大きく聞こえる。

一部の受験生が試験前日に「靖国で会おう」と声を掛け合うことがある。これは入試を特攻に見立てた冗談で、不合格を覚悟してのことだが、今や笑えたものではない。

安全保障関連法案成立が迫る今、兵役を意識して理系を選んだのかもしれないあの2人の心配は、杞憂に終わるだろうか。

沖縄の肌感覚 感じて下さい

無職

(島根県 64)

東京都小笠原村議会で安全保障関連法制の今国会での成立を求める意見書が可決されたことについて、14日の参院特別委員会で安倍晋三首相は、最前線におられる地元の方々の肌感覚の危機感(きんかん)は真摯(まじん)に受け止める必要があると述べました。その通りだと思えます。あれだけ多数のサンゴ密漁船が中国から押し寄せれば、脅威を感じるでしょう。

だったら、安倍さん。沖縄の人の肌感覚は感じないのですか。米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移転に対する反対は、地元の方

々の肌感覚ではないのですか。

大学生の時、旅行先で福岡周辺の米軍基地に張り巡らされていた有刺鉄線を見ました。日本の土地なのに区切られて自由に入れないのだと、違和感を覚えました。25年ほど前に沖縄に行った時も、そう思いました。摩文仁(まぶんじん)の丘では、沖縄戦没者の各県の慰霊碑に圧倒(おぼろ)されました。沖縄の人たちは、ここにいる人でないと分からないくらい悲しくひどい思いをされてきたでしょう。

安倍さん、反対意見は耳を傾けたくないものでしょう。でも、あなたは一国の首相です。意見の違う人の肌感覚も感じて下さい。

民の訴え 向き合ってほしい

無職

(香川県 59)

この夏、国会前での安保法案反対のデモに参加した。日比谷公園まで老若男女であふれていた。シユプレヒコールを上げる人もいれば歌で訴える人もいて、思い思いの形で参加していた。特に若者やママさんが声を上げ始めてから市民の空気が変わったと思う。

15日の中央公聴会で安保法案への反対を訴えた、学生グループ「SEALDs」メンバー奥田愛基(おくだあい)さんの発言に共感した。「若者に希望を与えるような政治家でいて下さい。国民の声に耳を傾けて下さい」「たった一人の個であっ

て下さい。自分の信じる正しい方向かい、勇気を出して孤独に思考し判断し、行動して下さい」。まさに市民の思いだ。国会議員はこの言葉に真摯(まじん)に向き合ってほしいと思った。しかし、その夜、地方公聴会終了後に締めくくりの総括質疑が行われると報道があった。言いようのない憤りを感じる。

奥田さんは「強行採決されることがあれば、全国各地でこれまで以上に声上がるでしょう。(中略)次の選挙にももちろん影響を与えるでしょう」とも言っている。私もその一員として、これまで以上に集会やデモに参加し、選挙権を行使する決意だ。